

久保 古巣の「最大のライバル」へ

かつて育成組織でプレーした「古巣」バルセロナではない。移籍先は最大のライバルだった。サッカーのレアル・マドリード（スペイン）は14日、日本代表でFC東京の18歳、MF久保建英の獲得を発表した。FC東京も公表した。

▼社会面参照

この春には、スペインメディアがバルセロナと基本合意したと報道。「バルサ復帰」は既定路線と見られていた。だが、今季定位置を得たFC東京での活躍が状況を変えた。

FC東京が契約更新を要請していたほか、パリ・サンジェルマンなどとも交渉していたという。FC東京の幹部は「どこにいたら、一番成長できるのか。それを本人が考えているのだと思う」と話していた。別の関係者によると、FC東京残留も選択肢にあったという。待遇面の良さや、自身が話せるスペイン語圏であったこともレアル移籍を決断した理由だと見られる。

過去にも日本から欧州の強豪に移った選手はいる。アーセナル（イングランド）に入ったMF稲本やFW宮市、FW浅野、バイエルン・ミュンヘン（ドイツ）に移籍したMF宇佐美ら

レアル移籍 3部相当リーグに参戦



小学生との記念撮影に応じる日本代表の久保（中央）ら。サンパウロ

だが、「武者修行」として出された期限付き移籍先で活躍できなかったり、復帰後に出番をつかめなかったりと、目立った実績を残せていないのが現状だ。

ましてや、世界中からスターが集まるレアルは、出場への壁はより一層高い。レアルの公式サイトによると、久保は夏からの新シーズンはまず、若手で構成するBチームに入り、スペイン3部に相当するリーグに参戦するという。同じようにトップをめざす精鋭たちとのポジション争いが、第一関門となる。（勝見壮史）

5組

15 付朝日新聞

いま自分の一番の興味事(言:文じ)
(5組は自然科学以外の内容)

サッカーについて

何故この記事?

サッカー選手も皆偉大な選手で強豪チームに所属している。移籍先を選ぶのは非常に重要なことだ。

この記事から何を42回生に伝えたい?

久保選手は僕たちより1年上なだけなのに、大きな夢を叶えたと思えます。移籍先を選ぶのは非常に重要な問題に思えます。その裏では、ものすごく努力しての結果だと思えます。自分達も、これからの人生を頑張って生きていくために、時期が来たら、決心をし、努力してみたいと思えます。